

2013.JAN

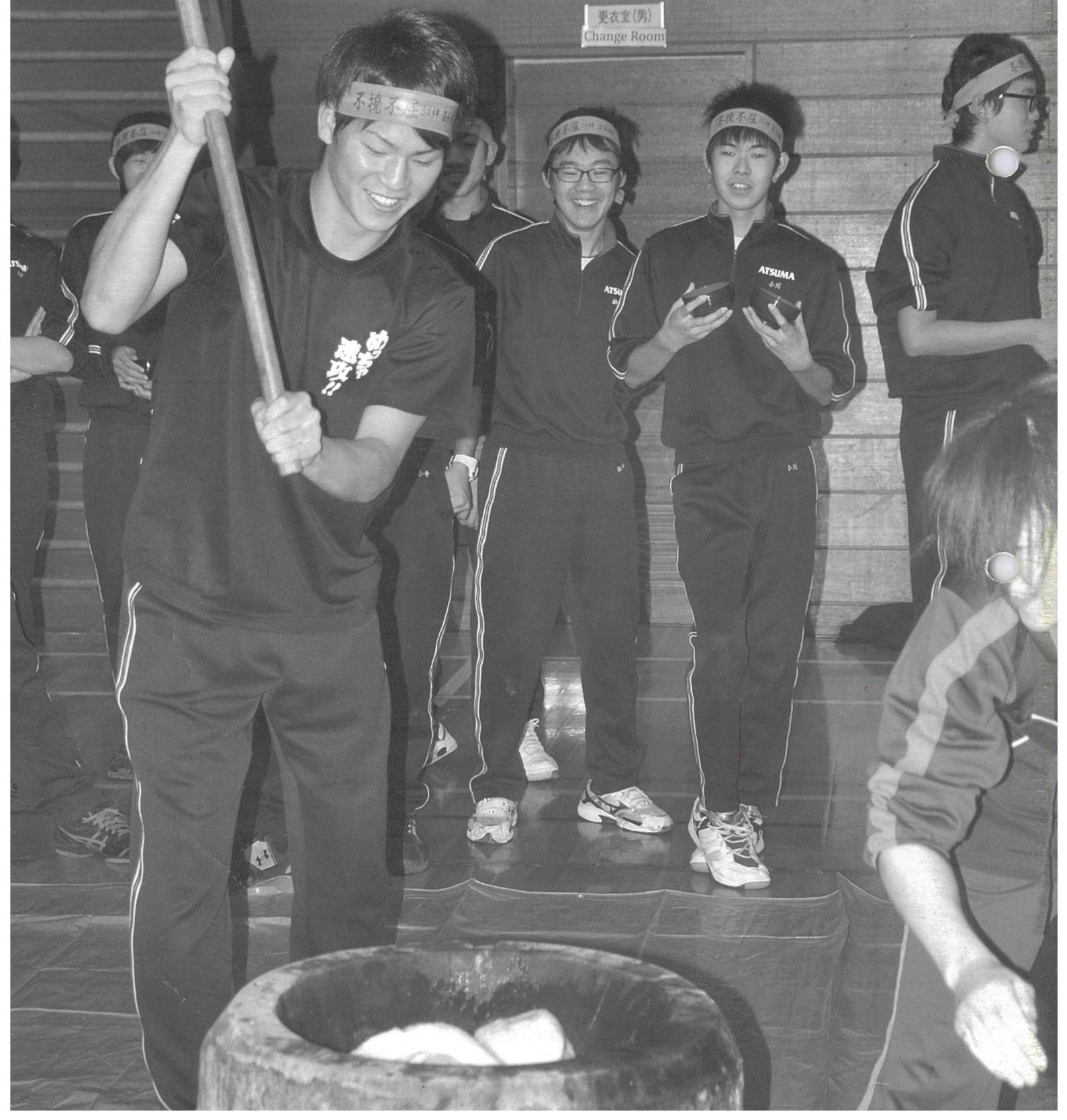
# あつま

1

No.725

広報

更衣室(男)  
Change Room



# 年頭のごあいさつ



魅力ある質の高い  
まちづくりを目指して

厚真町議会議長  
渡 部 孝 樹

明るい未来を信じ  
先達から受け継いた財産を  
次の世代へ引き継ぐ

厚真町長  
宮坂 尚市朗



2013年の輝かしい新春を迎え、町民の皆さんとともに心からお慶び申し上げます。旧年中は皆さまから町政諸般にわたり特段のご理解ご協力を賜り、改めて心より感謝申し上げます。

昨年は、師走の衆議院議員総選挙に象徴されるように政局が混迷し、国家財政と日本経済、税と社会保障、原子力発電所存廃とエネルギー問題、領土問題と安全保障、外交と通商問題など国民にとって将来への不安が高まった年となりました。3年3ヶ月ぶりに政権復帰した安倍内閣は、危機突破内閣と自称し、特に景気浮揚や日米関係・日中関係の再構築に意欲的でありますが、電力不足の解消や被災地の本格復興、雇用の改善や農林水産業の振興などの課題が山積しており、大型補正予算や新年度予算の早期編成と併せて、国民の合意形成に向けた真摯で賢明な取り組みを期待しています。

さて、本町を取り巻く情勢でありますと、昨年の農作物の作柄は、水稻は作況指数が百八の「良」となり、2年続けての豊穣の秋を迎えることができました。米の取引価格も好調に推移していると伺い、消費地の高評価とあわせて明るい話題が中心となりました。畑作物は、そ菜類やビートが猛暑による品質低下がありました。おおむね平年並みの収量が見込まれ安堵しているところです。

市政につきましては、私と皆さまのご理解をいただき、二期目の町政運営にあたらせていただきおり、「あつま再生プロジェクト」の第二次テーマとして「人を育て・人を残し」先達が營々と築いてきた本町の資源であり財産である「豊かな森と海、輝く田園」を「次世代へ」しっかりと引き継ぐため、「健全な行政運営」、「きめ細かな社会福祉」、「移住定住の促進」、「子育て支援・教育・環境の充実」、「産業・経営基盤の拡充」、「安全・安心な地域社会の形成」、「環境保全と交流促進」という七つの分野において、一期目の取り組みをより深化させていく所存であります。

また、政権交代で今までの政策が大きく転換する可能性もありますので、この機会を好機と捉え、

国内の社会経済情勢を見ますと、過去に経験し

町民の皆さん、明けましておめでとうございます。

希望に満ちた輝かしい平成25年の新春を、健やかにお迎えのことと心からお慶び申し上げ、あわせて日ごろからの議会に対する温かいご支援とご協力に対しまして、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を顧みますと、一年の世相を象徴する「今年の漢字」に「金」が選ばれましたが、9月2年ぶりに日本の広範囲で観測された金還日食、自立式電波塔として世界一の高さとなつた東京スカイツリーの開業、ロンドンオリンピックで、金メダルを筆頭に日本史上最多の38個のメダルを獲得、京都大学の山中教授がノーベル賞を受賞するなど、明るいニュースが多く、数多くの金字塔が打ち立てられた一年であったように思います。ただ、一方では、年金資産運用に関連した詐欺事件の発生、生活保護費の不正受給問題、消費税増税を中心とした財政問題など、「金(かね)」をめぐる問題が表面化した一年でもありました。

本町におきましては、記録的な寒波にはじまり、春先の融雪遅れや天候不順により、先行きが懸念されました。その後6月以降の好天と生産者の栽培努力によって、農作物も一部の作物を除いて豊穫の秋を迎えることができました。なんといつても基幹産業である農業に活気が生まれなければ、本町の活性化は望めません。昨年のこの成果は、天候に恵まれたことはもちろんであります。それぞの農家の皆さんをはじめ、それを支える方々の努力のたまものであり、関係者皆さまのご尽力に対しまして、心より感謝を申し上げることであります。

たことのない経済不況や雇用の停滞など、依然として経済の低迷が続いている。また、東日本大震災の復興、原発問題、TPP問題などさまざまなお題目に直面しております。このような中、国政においては、昨年12月の衆議院選挙では、自民党が約3ヶ月ぶりに政権奪還を決めましたが、明るい将来となりますよう新政権に期待するものであります。

さて、地方の時代といわれて久しくなりますが、地方分権改革、地域主権改革の推進に伴い、自治体の自己決定と自己責任の必要性がさらに高まり、政策形成のあり方が今まで以上に問われる時代となつており、議会が住民の代表機関として、結果たすべき役割がますます重要となっています。こうした背景の下、その責務を果たすとともに、より開かれた議会を目指して、さまざまな取り組みを実施しているところであります。昨年11月には、次代を担う子どもたちに、議会や行政に對して関心を持つもらうことを目的に「子ども未来議会」を開催し、子どもたちから本町のまちづくりに對してご提案をいただいたところであります。

議会といたしましても、今後とも小さくとも生きる力に満ちあふれ、豊かさを実感でき、魅力ある質の高いまちづくりを目指し、町民の皆さまの意思を反映するために、議会活動に積極的に取り組んでまいる所存であります。

どうか本年も相変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げ、町民の皆さまのより一層のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げまして、新年のごあいさつといたします。

※公職選挙法の規定により、議員から町民の皆さまへの年賀状は失礼させていただいております。(ご理解賜りますようお願いいたします)。

積極的にチャレンジする気持ちで町政運営に臨んでまいります。まず、厚幌ダム建設や国営農業用水再編対策事業、道営ほ場整備事業については、戦略的経済連携協定(TPP)交渉参加問題については、関係国が2013年中の合意を目指していけるとの情報もあり、今年が正念場となりますので、J Aや関係団体と連携し、例外なき関税撤廃には断固反対してまいります。

移住定住の促進、子育て支援・教育環境の充実について、これまでのフォーラム・ビレッジでの宅地分譲、京町保育園の認定こども園への移行に引き続き、上厚真市街地整備構想の中核となる柏区画整理事業の着工、宮の森保育園の認定こども園への移行準備、学童保育、放課後教室の充実に必要な児童館および児童公園の整備方針の具體化を急いでまいります。交流促進では、厚幌ダム、こぶしの湯および環境保全林などの高度利用を図る議論を深め、グリーン・ツーリズムやあつま総合プロデュースの取り組みとの相乗効果を戦略的に目指してまいります。

そのほかにも特産品開発、商店街の活性化や再生可能エネルギーの活用、人材育成や起業家支援など継続的に取り組むべき課題は目白押しです。が、本町の環境や潜在力を活かした新しいビジネスモデルを創造し、町民の皆さまの元気回復と本町の経済力の回復・向上を図つてまいります。

地方を取り巻く環境は相変わらず厳しいものが、本町の環境や潜在力を活かした新しいビジネスモデルを創造し、町民の皆さまの元気回復と本町の経済力の回復・向上を図つてまいります。

あります。豊かな自然と歩む明るい未来を感じ、先達から受け継いだ厚真のすばらしい財産を次の世代へ引き継ぐため、我々が為すべきこと、今までに積極果敢に取り組んでまいりたいと、新年のスタートに当たつて決意を新たにしているところであります。

結びに、町民の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、年頭のごあいさつといたします。





## あなたにとっての2012年は、どんな年でしたか？

### 2012年の主な出来事

1月	厚真市街地で厚真消防団と消防署厚真支署の合同出初式(6日)、成人者48人が出席し第64回町成人式を挙行(8日)、第5回あつま国際雪上3本引き大会(22日)
2月	スターフェス2012「第13回冬の花火大会・『辰』」の干支文字焼きがこぶしの湯あつま周辺、2012光のページェント「第12回ランタン祭り」が本郷地区で行われる(3日)、スターボールで室内ソフトボール大会(13~16日)
3月	平成24年第1回定例町議会が開会(7日)、こぶしの湯あつまでキャンドルナイト開催(11日)、町介護保険運営協議会が第5期厚真町介護保険事業計画および第5期厚真町高齢者福祉計画の答申書を提出(30日)
4月	町と苫小牧地方石油業協同組合が「災害時における石油類燃料の供給等に関する協定」を締結(20日)、厚真ライオンズクラブが上厚真に今年も100匹のこいのぼりを掲揚(27日~)
5月	町土地改良区による厚真ダム水神宮での取水式が行われる(11日)、町内外の11団体・企業等から約150人が、町有地や町有林、浜厚真海岸でカラマツやミズナラ、黒松の苗木を植樹(11~24日)
6月	町観光協会主催「田んぼのオーナー」が田植え体験(3日)、平成24年第2回定例町議会が開会(7日)、第40回田舎まつり前夜祭・本祭が表町公園周辺で開催(16~17日)
7月	7月1日執行の厚真町長選挙で2期目当選を果たした宮坂町長へ町選管委員長から当選証書を付与(2日)、昨年に引き続きATV(4輪バギー)の全日本大会が浜厚真オフロードパークでバトルを展開(22日)、俳優の黒沢年雄さんを招き健康づくり講演会を開催(26日)、第29回あつま海浜まつりが浜厚真海岸で開催(29日)
8月	第12回集まりンピック(第47回町民体育祭)がかしわ公園野球場で開催(19日)、町戦没者追悼式がおごそかに総合福祉センターで挙行(30日)
9月	アツマルシェが浜厚真野原公園で開催(9日)、平成24年第3回定例町議会が開会(13日)、町敬老会が総合福祉センターで開催。シルバー268人が出席(15日)、町交通安全協会主催の交通安全パレードを開催(28日)
10月	第13回健康ふれあいマラソン大会で170人が完走(8日)、宮西政志さん(軽舞)が地方教育行政功労者表彰受賞(17日)、タレントの間寛平さんの講演会を開催(17日)、町と新栄クリエイトが災害時協力協定書を締結(22日)
11月	町文化祭が総合福祉センター、厚南会館などを会場に行われる(3~4日)、町内在住女性と町長がお茶会ミーティングを開催(29日)
12月	恒例の歳末チャリティー即売会・演芸大会が総合福祉センターで開催(1日)、いぶり農業共済組合本所事務所・東部家畜診療所落成式(7日)、平成24年第4回定例町議会が開会(13日)、交通安全・防犯町民集会が総合福祉センターで行われる(17日)

協働のまちづくりは、町民のみなさん一人ひとりが“主役”です。



放課後子ども教室が中央小・上小でスタート

放課後の子どもたちの安全で安心な居場所の提供と体験活動等の機会を充実させることを目的とした『放課後子ども教室』がスタートしました。教室では、自然体験活動や集団遊び、ものづくりなどさまざまなプログラムが行われています。



度から行っている事業『地域おこし協力隊』の任命式が行われ、農業支援員として金子義宗さんと岡嶋修司さんを、観光支援員として遠藤恭一郎さんを任命し、町長が委嘱状を交付しました。

町が昨年度から行っている事業『地域おこし協力隊』の任命式が行われ、農業支援員として金子義宗さんと岡嶋修司さんを、観光支援員として遠藤恭一郎さんを任命し、町長が委嘱状を交付しました。

【5月9日・10日】

モニターツアー開催

町観光協会がバスカッピングモニターツアー開催のシーズンに合わせてモニターツアーを開催しました。町観光協会が、バスカッピング狩りの見学、ほかの観賞、ハスカップ料理試食会など、都会では得きれない厚真の魅力が盛り込まれました。

【7月14日・15日】

アースマラソンで地球一周

アースマラソンで地球一周間寛平さん講演会

文化講演会が総合福祉センターで開催され、400人が来場。タレントの間寛平さんが、アースマラソンのエピソードや裏話などを披露。軽快なトークと随所に織り込まれたコントに、会場は笑いに包まれていました。

【10月17日】

# 農の里2012



### 認定こども園つみき開園

保育園に幼稚園機能を附加した『認定こども園つみき』がスター通り、4月2日に開園式が行われました。同園ホールで行われた開園式では、園児代表6人がくす玉を割り、宮坂町長や渡部町議会議長からお祝いの言葉が寄せられました。こども園つみきでは、給食センターから給食も開始され、子どもたちは毎日元気に遊んでいます。

【4月2日】



### 「あつま子ども未来議会」開催

厚真中央小学校の6年生が議員になり、厚真的まちづくりに関する提案を行う『あつま子ども未来議会』が議事堂で開催されました。児童らは4つの班に分かれて、厚真的未来に対するための提案を発表。子ども目線からのよく考え、練られた提案に対しても、宮坂町長やPR、住みやすい町は真摯に、丁寧に答弁を行っていました。

【11月28日】



### 厚真町グリーン・ツーリズム運営協議会発足

農村部の地域性を生かした交流人口の拡大や観光産業などのビジネス化を展開することを目的に『町グリーン・ツーリズム運営協議会』が設立されました。会員として、15団体の代表者と公募の町民18人が参加。4つの部会が設置され、今後、地域資源を活用した食と観光の交流体験プログラムや特産品の開発支援などを協議し、進めています。

【2月27日】

豊かで美しい自然、人と人とのふれあいを大切にするまちを目指して…



# 厚真の魅力が委員から続々と

## 第2回タウンセールスプロジェクト会議を開催

町の効果的な情報発信の総合的な企画立案を町民と協働で行うタウンセールスプロジェクトの第2回会議が12月14日、総合福祉センターで開催されました。

今回は、平成25年秋発行に向けて準備を進めている町単独の地域情報紙の制作について、委託会社の編集スタッフとカメラマンを招いて2時間ほど意見交換を行いました。参加者からは「厚真の高齢者は本当に元気、そんな姿も魅力になるのでは?」「厚真的空気は子育てにはオススメしたい」「大沼キャンプ場は何もないけど、魅力的だと思う。」など幅広い意見が出され、これらを参考に編集者が紙面構成や特集記事などを制作し、年明けから紙面づくりがスタートします。委託会社の齊藤裕人さんは「来年秋に向けて、町民の方に話を伺つたり、カメラを向けたりする機会が多くなりますので、ぜひ魅力的なものがあれば教えていただきたい。一緒に素敵な情報紙を作つていきましょう。」と話していました。



制作会社のスタッフと意見を交わすプロジェクトメンバー

## 事務所と家畜診療所が一体化 いぶり農業共済組合落成式

いぶり農業共済組合（日西善博組合長理事）の本所事務所・東部家畜診療所落成式が12月7日、新事務所で行われ、宮坂町長をはじめ、胆振管内自治体の来賓や理事、関係者らが出席し、新事務所の落成を祝いました。

日西組合長理事が「移転にあたり、町および工事関係者の多大なご協力をいただき感謝している。働く環境が整い、役職員一同、組合の健全運営と胆振の農業、畜産業の振興に努めたい」とあいさつ。その後、建設委員長を務めた河野副組合長理事からスライドを用いて経過報告が行われました。



## 多彩なステージに拍手喝采 歳末チャリティー演芸大会

歳末恒例の町婦人団体協議会（藤本昭子会長）による「第35回歳末助け合いチャリティー演芸大会」が12月1日、総合福祉センターで行われました。

今年は23の個人・団体がステージ上でカラオケやフラダンス、和太鼓などを披露。また、今年度採用となった役場女将（藤井麻里子）が、田舎のマイ

# 12月のまちの話題

## 今年も「食」で異文化交流 ベトナム料理に挑戦

町主催の異文化交流事業「お箸の国」の食文化化（ベトナム料理に挑戦）が12月7日、総合ケンセイセンターで開かれました。講師は若小牧駒澤大学の金内花枝准教授と海外留学生など6人で、ベトナム料理の代表的な春巻きやバインセオ（好み焼き）、豆腐とニラのスープ、ココナツミルクにあんこの入ったチエー（デザート）の4品に挑戦しました。このほか、金内准教授による講演も行われ、ベトナムの米文化について理解を深めた一日となりました。



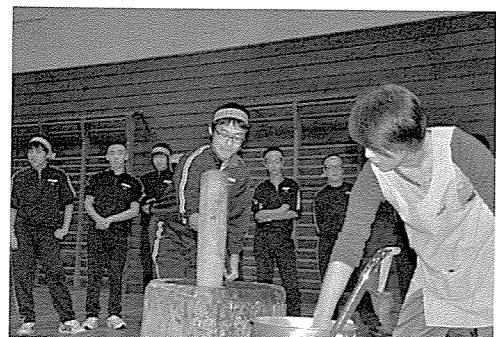
ヴァティさんからベトナム料理を教わる参加者



## みそ作りをしてみよう 上小5年生が加工施設を訪問

上厚真小学校（油谷諭校長）の5年日、総合的な学習の一環として町内設を訪れ、おふくろみその製造工程をた。児童らは、味噌実践集団（JAJA女性部厚真支部）団長の安田久美子明を受け、真剣にメモを取っていました。児童からもみそ作りに関する質問が長は一つひとつ丁寧に答えていました。





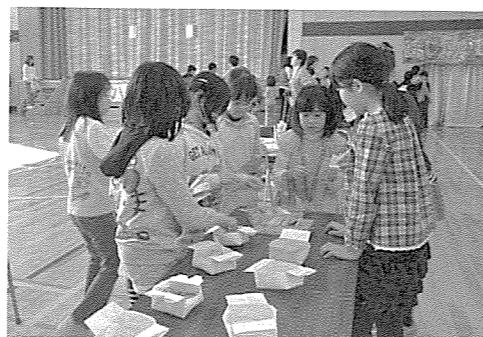
合格の願いを込めて餅をつく生徒

## もち 目指せ合格！厚中生が合格祈願餅つき

厚真中学校（工藤弘校長）の3年生が12月19日、合格を祈願して餅つきを行いました。7年ほど前に始まったこの行事。生徒たちは、学級目標がプリントされた鉢巻きを締め、「全員合格！」「合格するぞ！」「みんなで頑張ろう！」などと抱負を述べて気合いを入れ、お母さんに手返しをしてもらしながら餅をつきました。つき上がった餅は、お雑煮のほか、ゴマやきな粉をまぶして昼食に。担任の竹中美和子先生は「とても仲の良いクラス。受験は初めての緊張する経験なので、どうしても息が詰まる。これで息抜きをしてまた頑張ってほしい」と話していました。

## 楽しいお祭り「上小フェスティバル」

上厚真小学校（油谷諭校長）で12月14日『上小フェスティバル』が開催され、児童や保護者、地域の方たちが参加し、楽しいひと時を過ごしました。この行事は、手作りのお祭りやステージ発表を通じて各学年が交流し、楽しく遊ぶことが目的。児童や保護者らは、各学年が約1ヶ月かけて計画・作製したゲームやアトラクションを回り、和気あいあいと交流しながら楽しく遊んでいました。5年生の森山明日香さんは「みんなで考えたり準備したりして、時間はかかったけど、あっという間で楽しかったです」と感想を述べていました。



下級生と上級生が一緒にしおりのパート選び



最近の詐欺の手口について説明する田村課長

## 良い年末年始を 交通安全・防犯町民集会

町と町交通安全推進委員会、町交通安全協会、町防犯協会による平成24年度交通安全・防犯町民集会が12月17日、総合福祉センターで自治会や事業所、関係団体などから約80人が参加し行われました。

町交通安全推進委員会会长の宮坂町長が「年末はいろいろな事故や犯罪が増える時期。改めて気を引き締めて」とあいさつ。集会では、冬の交通事故防止や振り込め詐欺被害防止などについて、苦小牧警察署中野交通課長と同署田村生活安全課長を講師に迎えて講演。「事故や犯罪の加害者、被害者にならないよう気をつけて」と訴えていました。



きれいに飾りつけされた会場でにぎやかに

## 厚真福祉会でメリークリスマス♪

社会福祉法人北海道厚真福祉会（岩筋雅弘理事長）の豊厚園とりハビリセンターのクリスマス会が12月18・19日の両日、同施設で行われました。18日に行われた豊厚園のクリスマス会では、岩筋理事長が「今日は皆さんが一番楽しみにしている行事。おいしいごちそうを味わいながら、音楽や芸などで楽しいひと時を過ごしてください。『メリークリスマス』とあいさつ。ツリーや電飾が施された華やかな雰囲気の中、入居者の皆さんはテーブルいっぱいのごちそうを頬張り、芸能ボランティアの方々によるアトラクションを楽しんでいました。



稻わらが縄になっていく様子に興味津々の園児

## つみき園児が“しめ縄づくり”に挑戦

こども園つみき（宇佐美修一園長）のきりん組園児23人が“しめ縄づくり”を行いました。この体験は昨年に続き2回目で、田植え・稲刈り・収穫祭の一連の取り組みとして行われており、刈り取った稲わらを最後まで無駄なく使えることを感じてもらうことが目的。園児たちは講師の説明を受けた後、木柵での“わら打ち”を体験。その後、柔らかくなつたわらを3人1組でねじりながら編み、最後に稲穂や自分で書いたメッセージカードを飾りました。作業中、細い稲わらが、編み込むと切れないしめ縄になったことに驚いた表情を見せる園児もいました。

## まちの話題 plus

### おいしいみそを各ご家庭へ 「おふくろみそ」の仕込み始まる

厚真町の特産品のひとつである『おふくろみそ』の仕込み作業が12月10日から始まり、作業着に身を包んだ農家の母たちが、おふくろみそ加工施設で仕込み作業を行いました。

みそ作りを行っているのは、JAとまこまい広域女性部厚真支部の味噌実践集団（安田久美子団長）。現在約30人のメンバーで構成され、12月中旬からの約10日間と1月中旬から2月初旬までの2回に分けて、60kg樽308個（18トン）のみその仕込みを行っています。

原材料の大豆と米はすべて厚真産で、米はきらら397の一等米を使用。大豆や米、麹のほの甘い香りが漂う中、仕込み作業が同時進行で進められ、皆さん手を止めることなく、てきぱきと作業を行っていました。



みその命である麹作りをする皆さん

### 資源を有効活用「歳末チャリティー即売会」

厚真町コミュニティ運動推進協議会の「歳末チャリティー即売会」が12月1日、総合福祉センターで行われ、町民から寄付された背広やコートなどの衣類や食器、おもちゃなど1,400点が並べられました。

同協議会の松井満男会長は「今年は土曜日にも関わらず、たくさんの方に足を運んでいただき本当にありがとうございます。これを機に、物を大切に使っていただけたらうれしい」と話していました。

この日の売り上げは52,239円になり、厚真町共同募金会に全額寄付され、歳末たすけあい事業に活用されます。



並べられた品物を品定めする来場者



祝賀会であいさつをする宮西さん

### 宮西政志さん(軽舞)の受賞をお祝い

文部科学省大臣地方教育行政功労者表彰を受賞した宮西政志さん（軽舞）の祝賀会が12月8日、こぶしの湯で開催されました。

教育委員会委員が発起人となって行われた祝賀会には、宮西さんが教育委員在任中に教育行政を共にした歴代教育委員や事務局管理職はじめ、来賓の宮坂町長、渡部町議会議長、藤原前町長、各学校長、軽舞地区の公職者ら36人が参加。

宮西ご夫妻を囲んだ席上では、宮西さんが長年にわたって残した功績の数々に、ねぎらいの言葉が寄せられていました。



龍崎保健師の健康講話に聞き入る参加者

### 元気に楽しく新年を 高齢者年末交流会

町高齢者大学と老人クラブ合同の高齢者年末交流会が12月21日、福祉センターで開催され、140人が参加しました。最初に、龍崎保健師が「かしこく食べてイキイキ元気」と題して健康講話をを行い「1人暮らしになると食事が質素になりやすく栄養が偏りやすいので、きちんと3食とりましょう」や「塩分控え過ぎの味ない食事は食欲が低下することがあるので、おかずをどれか一品濃いめの味にするなどの工夫も必要」などと話し、参加者はうなずいたりメモを書いたりしていました。その後、交流会が行われ、参加者は食事をしながら親睦を深めています。

# 気象台からの 防災メモ

【問い合わせ】  
室蘭地方気象台  
☎0143-22-4249

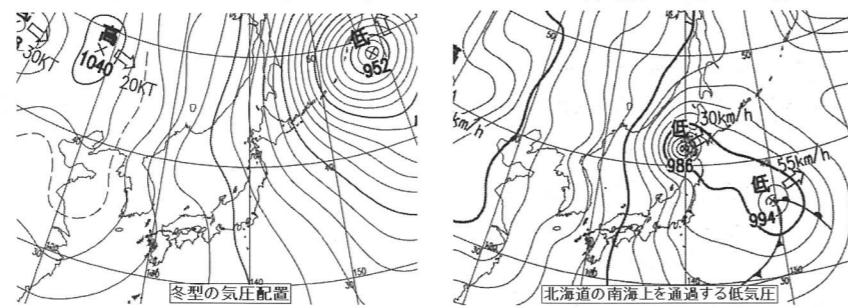
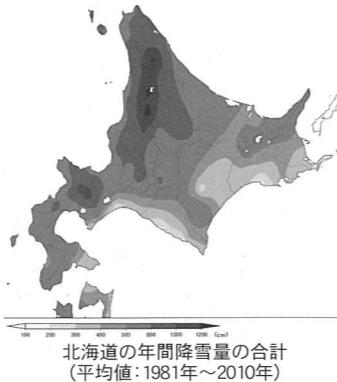
## ③大雪について

胆振・日高地方で1年間に降る雪の量の合計は、平年値で見ると山沿いで約5m、平地は約3mで、日本海側の半分程度と北海道の中では雪の少ないほうです。

胆振・日高地方で大雪になるのは、発達した低気圧が南海上を通過する場合で広い範囲に雪が降り続けます。「西高東低」の冬型の気圧配置でも、風向によっては、一時的に強い雪が降る場合もあります。

大雪では交通関係への影響が大きく、雪の深さがタイヤの半径を超えると車は走行できませんし、大雪でなくとも強い風を伴うと吹雪で見通しが悪くなり、吹き溜まりもできます。また、事故などで停車すると、車の周辺に吹き溜まりがでて動けなくなる場合もあります。

雪の積もり方は地域差が大きく、風によって大きく変化し、細かい予想はできません。大雪や暴風雪が予想される場合は不要な外出を控え、なるべく広く、交通量の多い道路を通るなどの行動が必要です。また、大雪のあとは、屋根の雪下ろし作業での転落や落雪事故にも注意してください。



## お天気・気象Q&A

Q 上厚真地区は夏にかけて濃霧が発生します。

なぜですか？

A 上厚真地区に限らず、北海道の太平洋側では夏には海で霧ができやすくなり、風の向きによって陸地に入ります。

春から夏にかけては、まだ海の温度が低い状態です。この時、南から暖かく湿った空気が入ると、冷たい海の上で空気が冷やされて、中にある目に見えない水蒸気が湯気のように目に見える水の粒になります。これが霧です。霧は風に流されるので、海からの風が直接入る場所には霧も入りやすく、山の後ろなど風がさえぎられるところではあまり入りません。

Q 天気予報で、雨でも降らない時があるけど、間違えたの？

A 予報なので、はずれてしまうことはあります。また、気象台の発表する天気予報は、胆振地方全体の予報なので、胆振地方の多くの地方で雨が降り、予報は当たっていても、厚真町だけ降らないという場合もあります。厚真町だけの天気予報は、放送局が民間の気象会社の発表した天気予報を放送しているもので、気象台の予報ではありません。

Q どのくらい先まで天気予報ってできるんですか？

来年とかわかるのかな？

A 現代の科学技術をもってしても来年は無理ですね。どの程度の細かさで何を予想するかにもありますが、天気に限っていえば、3日先までは胆振地方くらいの広さの予報を行っています。週間予報は毎日の天気を1週間先まで予報していますが、胆振・日高地方を合わせた広さを予報しており、日が先になるほど当たりにくくなります。1か月先や3か月先などになると、その日の天気予報ではなく北海道全体を見て、その間の平均的な天気の状況を予想することしかできません。

天気や気象の疑問・質問にお答えします！

天気や気象に関する疑問・質問を募集しています！皆さんからいただいた疑問・質問に、室蘭地方気象台の職員が回答し、掲載します。

たくさんの応募をお待ちしています！

▶応募方法 ハガキかFAXで、質問・疑問等をお送りください。（必ず住所・氏名・年齢・電話番号もお書きください。）

▶あて先 ☎059-1692 厚真町京町120  
厚真町役場 まちづくり推進課  
お天気質問係（FAX 27-2328）

▶その他 質問内容等の掲載にあたっては、応募いただいた方の氏名等個人情報は掲載いたしません。

# 厚真町 イメージアップ キャラクター募集 受付状況

現在117件  
(12月21日現在)

町では、11月1日から観光・産業振興を目的として町のキャラクターを募集しています。広報やホームページ、公募雑誌などを通して周知しており、全国の方から応募を受け付けています。

12月7日までにお寄せいただいたキャラクターは57件で、遠くは九州や四国からの応募がありました。年齢も、小学低学年から79歳の方までと幅広く、手書き作品やデジタル作品など力作がそろっています。

また、厚真町民の方からの応募が少ないので、まだ応募されていない方はぜひご応募ください。すでに応募されている方も、2作目、3作目と素敵なキャラクターをお寄せくださいね！

- 募集内容：厚真町イメージアップキャラクターのデザイン
- 募集期間：平成25年1月17日（木）まで
- 募集方法：公募
- 応募資格：不問（プロ・アマ問いません）
- 応募方法：応募用紙とデザイン用紙に記入の上、郵送・メール・持参で受け付けます。
- 応募先：〒059-1692 厚真町京町120番地  
厚真町役場まちづくり推進課 キャラクター募集係  
☎ (0145) 27-3179 / Mail : boshu@town.atsuma.lg.jp

※持参の場合は、開庁日の午前9時から午後5時まで受付

- 応募用紙・デザイン用紙・募集要項の配布場所  
応募用紙・デザイン用紙・募集要項は、役場本庁舎、役場上厚真支所、総合ケアセンターゆくり、厚真町商工会、こぶしの湯あつま他で配布しています。また、インターネットでもダウンロードできます。町ホームページからご覧ください。（<http://www.town.atsuma.lg.jp/>）

【募集要項等設置場所（例）】



こぶしの湯あつま ロビー



1人何点でも  
応募できます

子どもから  
大人まで

テーマは自由  
厚真のPRに  
なること

最優秀作品  
10万円！



応募締め切りは、1月17日（水）まで！  
ご応募お待ちしています！！

問い合わせ先 まちづくり推進課 企画調整グループ（☎27-3179）

I LOVE

ペツト

# 私の大切な家族



奥さんの澄子さんと元気いっぱいのリンダ

リンダ 女 10歳  
(犬・ミニチュアダックスフンド)  
東和 德地 福治 さん家族

リンダが徳地家の一員になったのは10年前。「リンダを飼う前、家にはボンタという犬がいたんですが、天寿を全うして18歳6カ月で亡くなりました。もう犬は飼わないと思っていたんですが、孫が、来るたびに『じいちゃん、犬が欲しい!』と言われ続けていたんです。ちょうどそのころ、息子が会社の出張で名古屋に行っていて、そこでリンダと出会って一目ぼれし、買って来たのがリンダなんです」と奥さんの澄子さん。

リンダの名付け親は札幌に住むお孫さんで、娘さんやお孫さんが来るとリンダはとても喜ぶそう。「生後45日で我が家に来た時は、その小さい姿を見て心配しましたが、今では来客が来て玄関チャイムが鳴ると、我先にとしっぽを振って玄関に行ってほえ続ける元気な子です。リンダは、目と目が合い、心の通じ合う、大切な大切な家族の一員です」と目を細めた。

ペット、本を紹介してください。お気軽にまちづくり推進課企画調整グループまで（☎27-3179）

本

## 私の出会った素敵なお本

## 「十五少年漂流記」

J. ベルヌ/著

生涯学習アドバイザー 高畠 邦男 さん

「小学校4年生のころ、漫画ばかり読んでいた私に、15歳上の兄が『漫画ばかり読むな。少しは文章らしいものを読め』と贈ってくれたのが、この『十五少年漂流記』でした。本を開くと、挿絵はほんの少しで、あとは字ばっかりでガッカリ。でも、漢字に全部ルビがふってあったので読み進むことができた。読んでみたら、冒険心をくすぐる内容ですごく面白くて。そのとき『字ばっかりの本も面白いんだ!』と知り、本を読む楽しさに目覚めたんです」という高畑さん。

現在は生涯学習アドバイザーとして読書活動の推進も行っている。「子どものころに本をたくさん読んだことはとても良い経験でしたし、母や姉が読み聞かせや寝物語をしてくれたこと、そして本好きになるきっかけを与えてくれた兄にも感謝しています。本は想像力を育て、本を通して気づくことや知る世界もたくさんあります。また、本は心を強くし、支え、励ましてくれる。本を読むことで、夢や希望を持てる子どもが増えてくれるとうれしいですね」と笑顔を見せた。



厚 真 人

人

# 新町

ふるや  
古谷

(28歳)

「また今大用でちがむうちで、もうすこし、もうすこし」という感じですね」と話す古谷さん。古谷さんは今年10月15日付で地域おこし協力隊・観光支援員の委嘱を受け、町の観光振興やPR事業に携わっている。生まれも育ちも札幌市の古谷さんが厚真を知ったきっかけはドライブ。数年前、お正月に支笏湖へドライブに行き、帰りに厚真を通るルートを選んだ。「もともと自然が好きだったんですけど、浜厚真的工業地帯の夜景、その後に広がる田畠、そして町の中に灯るイルミネーションと町並み。とにかくすべてが良かっただ」という。その後、新聞で厚真町で観光支援員を募集していることを知った古谷さんは「小さいころから、広い所、静かな環境で自然豊かな所に住みたいと思っていて。なかなかきっかけがないなと思っていた時だったので、良いチャンスが来た!と思いました」と話す。

支援員は1年ごとの更新で、最長3年まで更新が可能。「今手掛けていることは短期間でできることではないと思っています。だからこそ腰を据えて最後までしっかりと携わっていきたく思いますし、任期終了後も厚真に住み続けたいと思っています。」厚真是魅力がたくさんある町。自分が感じた魅力を多くの人に伝えたいですし、皆さん思いを実現するお手伝いができたらいいなと思っています。」

業、グリーン・ツーリズム事業の準備などを行っている。また、仕事を進める上で、大学時代に札幌市厚別区の委託を受け、地域住民と協働でまちづくり事業を行った経験も参考になつているという。

人のうごき	
12月1日～12月20日届出分	
誕生おめでとう (3人)	
本郷 佐藤 結ちゃん	11/27 (父一孝さん・母一ともみさん)
美里 堀川 恭平くん	12/6 (父一潔さん・母一恭子さん)
豊沢 鷹見 遥くん	12/8 (父一修司さん・母一美佳さん)
★ごめい福をお祈りします (2人)	
新町 須貝富士夫さん	83歳 12/15
上厚真 田中 安夫さん	71歳 12/16

(おことわり)  
上記は、窓口などで、広報紙への掲載についての確認ができた方を掲載しています。

### 子育て支援センターからのお知らせ

2月の「あはなしのびっ子」は、こども園つみきのホールで開催します。  
こども園の友だちも一緒に観覧しますので、たくさんの来園をお待ちしています。



### オツとひといき

「広報あつま」を読んでクイズに応募すると、正解者の中から抽選で5人に『図書カード』をプレゼントします。

問題 さて、ここはどこでしょう?

▶応募方法 ハガキかFAXで、クイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号と、広報や町のことについての意見・感想等を書いてください。

▶しめ切り(当日消印有効) 1月25日(金)

▶あて先 ☎059-1692 厚真町京町120  
厚真町役場 広報クイズ係(FAX 27-2328)

【12月号の答え】 雪上3本引き(3本引き)

【12月号の正解者】 応募しめ切り前のため、正解者数は2月号でお知らせします。

クイズ・ここどこ?

## キッズ2月の予定

### 子育て支援センター「ゆうゆう島」情報

月	火	水	木	金
4 開放日	5 開放日	6 びよびよ広場	7 開放日	8 開放日
11 休館日	12 子育て講座 「バレンタインのお菓子作り」 ※前日までに予約してね!	16 あそびの広場 『リボン形アーチびな』 ※前日までに予約してね!	14 開放日	15 開放日
18 「Helloえいご!」 開放日	19 開放日	20 びよびよ広場	21 開放日 あはなしのびっ子 ※午後「玩具洗い」のため休館	22 開放日
25 開放日	26 開放日	27 あそびの広場 『雪だるまの置き飾り』 ※前日までに予約してね!	28 開放日	

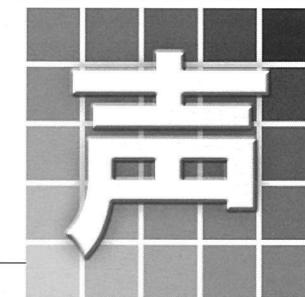
※水曜日の午後はサークル活動日です。お母さん達の集まりの場にご利用ください。(要予約)

★子育て支援センター「ゆうゆう島」ホームページ  
厚真町ホームページ <http://www.townatsuma.lg.jp/>  
→トップページ→教育・文化→子育て支援センター「ゆうゆう島」

\*利用時間 午前10:00～11:30 午後1:00～4:00  
\*『あそびの広場』 第2・4水曜日10:00～11:30  
1歳～就学前までの子さんとご家族が対象です。手遊び・ゲーム・製作など、季節の遊びも取り入れ、親子で楽しみましょう。  
\*『Helloえいご!』 開催日の午前中  
英語指導助手のアリーさんが来てくれます。遊びながら楽しく英語に触ることができます。年齢に関係なくお越しください!  
\*『びよびよ広場』 第1・3水曜日10:00～11:30  
0～1歳までの子さんとご家族が対象です。お子さんを自由に遊ばせながら、親同士の情報交換の場としてご利用ください。  
\*開放日には、お気軽に遊びに来てください。  
\*電話相談(9:30～17:00)・来所相談(10:00～16:00)・予約、そのほかお問い合わせは☎27-2438(直通)子育て支援センターへ!!

### みんなの声をお寄せください

- ・こんな記事を読んでこう思った。
- ・こんな疑問を持っている。役場のみなさん教えてなどどんなことでも結構です。
- 紙面は無記名ですが、住所や氏名、性別、年齢は伺います。
- まちづくり推進課 電話 27-3179 FAX 27-2328



# みんなの広場

### 家族で楽しもう! お父さん参加の「あそびの広場」

- ◆日時 2月24日(土) 10:00～14:30
- ◆場所 子育て支援センター「ゆうゆう島」と、こども園ホール
- ◆対象年齢 1歳6ヶ月～就学前まで
- ◆持ち物 エプロン、三角巾またはバンダナ、お手拭き
- ◆人数 10組まで(要予約)
- ※定員になり次第、締め切らせていただきます。
- ◆締切 2月5日(火)

### 子育て講座『バレンタインのお菓子作り』

- ◆日時 2月12日(火) 10:00～12:00
- ◆場所 総合ケアセンターゆくり 2階調理室
- ◆対象年齢 1歳6ヶ月～就学前まで
- ◆持ち物 エプロン、三角巾またはバンダナ、お手拭き
- ◆人数 10組まで(要予約)
- ※定員になり次第、締め切らせていただきます。
- ◆締切 2月5日(火)

### 節分の『豆まき』をします!

- 今年も“いきいきサポート”的あじいちゃん・あばあちゃんが「ゆうゆう島」の豆まきに来てくれます。お年寄りとのふれあいを楽しみながら、豆拾いに参加してみませんか?
- ◆日時 2月1日(金) 10:30～11:30
  - ◆対象 子育て支援センター利用者
  - ◆人数 15組まで
  - ※定員になり次第、締め切らせていただきます。
  - ◆締切 1月25日(金)

【お問い合わせ・申し込み先】  
子育て支援センター(☎27-2438)

### “キッズルーム” みんなでつくる ごきげんなコーナー

HAPPY  
BIRTHDAY

1

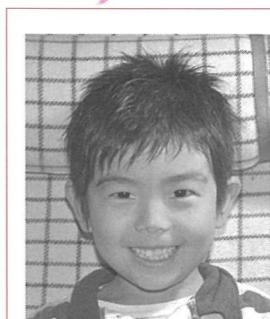
ママも、子どもも大満足!  
『笑顔』大歓迎の空間へ集合!  
ママ友同士で気軽に応募してください!



熊谷拓馬くん  
H19. 1. 5 (新町)



小山凜久くん  
H19. 1. 8 (表町)



丸山晴凪くん  
H19. 1. 30 (豊沢)

笑顔募集中!  
誕生日の記念に、お子さんのステキな笑顔で紙面を飾ってみませんか?  
締め切りはお誕生日の前月20日ごろ。満4歳から満6歳までの子さんの写真を募集します。どうぞ気軽に電話ください。(締切厳守)  
▶まちづくり推進課(広報担当) ☎27-3179

**命の大切さを学ぶ教室**

**厚高インフォメーション**

命の大切さを学ぶ教室

163

厚真高校ではこのほど「命の大切さを学ぶ教室」を開催し、全校生徒が、交通事故で当時高校生の次男を亡くした高石洋子さんの講話を聞きました。「悲劇をなくすために」と題した高石さんの講話は、事故があつたときの動搖した状況に始まり、飲酒運転の車両にひき逃げされたと知つた時の家族の悲しみや憤り、そして息子の友人たちに励まされて今日を迎える心地を切々と語りました。また、運転免許を取るということは、たくさんの責任を負うということであり、大切な命を守るということを生徒に訴えかけました。生徒は真剣に話を聞き、最後に講話のお礼と命を大切にする決意を述べ終了しました。

さて、厚真高校3年生の進路状況は、就職・進学それぞれ希望は50%となっています。就職については大変厳しい中で善戦し、内定率は59%となっています。まだ未決定の生徒に対しては、関係機関と連携しながら卒業までに100%になるよう努力していきます。

進学は、決定期率94%です。今年度は大学進学者が多く、指定校枠で北海道情報大・酪農学園大・文教大・札幌大女子短大・道立農業大学校に進学を決めています。また、苫小牧看護専門学校をはじめ、希望の資格を取るため、各種専門学校への合格も果たしています。

まなびや

**わたしたちの作品**

上厚真小6年 山川侑美さん (12)

「全体のバランスに気をつけて書きました。“の”が難しかったけど、“間”的字がうまく書けました。」

上厚真小6年 大山みどりさん (11)

「“間”的字が大きくならないように気をつけて書きました。“仲”的字がうまく書けました。」

**回答**

- ① 山形県・B型・うお座
- ② 「十人十色」「みんなちがって、みんないい」
- ③ 声優
- ④ 【得意】音楽、図工、体育 以外
- ⑤ 【苦手】音楽、図工、体育
- ⑥ 2年目
- ⑦ 豊かな自然、優しい人々、おいしいお米と味噌
- ⑧ 果物全般（特にサクランボ、リンゴ、スイカ）
- ⑨ 【好きな映画】カリオストロの城
- 【好きな本】菊地秀行さんの本
- ⑩ 今は間違うことが許される時期。そして、「失敗は成功の母」です。間違いや失敗を恐れずに、いろいろなことにチャレンジしてください。

**直撃インタビュー Vol. 10**

**○○先生を紹介します！**

**文芸あつま**

小雪降る墨絵のような冬景色 露天の風呂は一人貸し切り  
大晦日子等一同が集ひ来る親子の絆を深めたき日に  
元旦を一人迎えし「夫もいづ四十八年共に暮せど

(あつま文芸友の会発行『文芸あつま 第十七号』から抜粋)

**上厚真小学校**

**質問**

- ① 出身・血液型・星座
- ② 座右の銘
- ③ 小さい頃の夢
- ④ 得意・苦手だった教科
- ⑤ 厚真に来て何年目
- ⑥ 厚真の良いところ
- ⑦ 趣味・特技
- ⑧ 好きな食べ物
- ⑨ 好きな本または映画
- ⑩ 子どもたちにひと言

(京町 木村百合子) (宇隆 加賀谷明美) (本郷 本田博子)

えぐち 江口 つとも 勉 先生

# ほくの・わたしの クラスじまん ともだちっていいな

その133 厚真中学校

深和剛

紹介してくれたのは…

厚真中学校3年生のみなさん

(書いてくれたのは) 厚真中学校3年 酒井 梨那さん  
米澤 麻悠さん

私たちの学年は男子19人・女子12人、計31人の個性豊かな学年です。学級目標は「深和剛（みわこ）」です。この目標は、「卒業しても続く絆を深めるべし、信頼し和めるクラスであるべし」という意味が込められています。私たちにはこの目標を掲げながら、さまざまな行事に取り組んできました。

修学旅行は東京でした。ディズニーランドでは、おもてなしの心について学び、班対抗の発表で大爆笑したり、上野公園やバスで歌ったり、鎌倉、浅草、隅田川、国会議事堂などを見学し、北海道と東京の違いに驚きました。

体育大会では、厚真中伝統競技の「じばつて走れ」で、ゴール直前に失格になってしましました。その後、みんなで悔しさを味わいました。

最後の学校祭は「平和」というテーマを掲げて、ともいき荘の坪井さんに戦争体験を聞いたり、ピデオを見たりして戦争について調べました。壁新聞のタイトルは「闘」、劇は「戦争を知らない子供たち」、合唱は「十字架の島」を歌いました。団結すること時、みんなで悔しさを味わいました。

今は受験生なので、みんなでハチマキを締めて頑張って勉強会をしています。良い結果を残すことができ、全員の心が一つになって感動の涙を流しました。

歌が大好きな私たちは、「コンサートインはやきた」にも参加させてもらいました。良い合唱が歌えて、何よりもみんなが楽しく歌えたことが最高の思い出になりました。

ダンスをしたり、みんなで一発芸をしたり、外でお弁当を食べたり、1、2年生と歌つたり鬼ごっこをしたりなど、泣いたり笑つたりできる最高のクラスです。

今は受験生なので、みんなでハチマキを締めて頑張つて勉強会をしています。良い結果を残すことができ、何よりもみんなが楽しく歌えたことが最高の思い出になりました。

課題もあります。それは「忘れ物が多いこと、勉強の時集中していない人がいること、言葉づかいが悪いこと」です。このクラスで過ごせるのも残りわずかなので、課題を克服しつつ思い出をたくさん作りたいです！

★町民福祉課は総合ケアセンター『ゆくり』内(☎26-7871)に、子育て支援センター「ゆうゆう島」はこども園つみきに併設されています(☎27-2438)。

# ほけんの掲示板

## 2月



### 二種混合予防接種

とき 4日(月)～5日(火)  
ところ あつまクリニック  
受け付け 接種希望当日に、町民福祉課で受付を行ってください。(受付時間 9:00～11:30, 14:00～16:30)  
対象 小学6年生で8月に未接種の方。(二種とは、ジフテリアと破傷風のワクチンを混合したものです)  
持ち物 母子健康手帳、印鑑

### 三種混合予防接種

とき 12日(火)～15日(金) ※14日(木)午後は休診です。  
ところ あつまクリニック  
受け付け 接種希望当日に、町民福祉課で受付を行ってください。(受付時間 9:00～11:30, 14:00～16:30)  
対象 ①1期初回—初めて予防接種を受ける場合は、生後3ヶ月～12ヶ月が標準的な接種年齢となります。今までに1期初回を1回以上接種していて、生後12ヶ月を越えている場合は、48ヶ月までにできるだけ終了してください。  
②1期追加—1期初回接種(3回)終了後、12ヶ月～18ヶ月までに接種してください。  
※上記以外の場合は、町保健師にご相談ください。  
持ち物 母子健康手帳、印鑑

### 四種混合予防接種 (ジフテリア・破傷風・百日咳・ポリオ)

とき 12日(火)～15日(金) ※14日(木)午後は休診です。  
ところ あつまクリニック  
受け付け 接種希望当日に、町民福祉課で受付を行ってください。(受付時間 9:00～11:30, 14:00～16:30)  
対象 ①1期初回—初めて予防接種を受ける場合は、生後3ヶ月～12ヶ月が標準的な接種年齢となります。  
※ポリオ予防不活化ワクチンおよび三種混合予防ワクチンを1回でも接種している場合は、原則対象外です。  
※上記以外の場合は、町保健師にご相談ください。  
持ち物 母子健康手帳、印鑑

### 乳児健診

とき・ところ 13日(木) 総合ケアセンターゆくり  
対象 H24.8.15～H24.11.13生まれ(3～6ヶ月)またはH24.2.15～H24.5.13生まれ(9～12ヶ月)のお子さん  
時間 個別にご案内します  
持ち物 母子健康手帳、バスタオル  
※3～6ヶ月児のお子さんは、アンケートとBCG問診票も必要です。押印のうえお持ちください。

### 小児マヒ(ポリオ)予防 不活化ワクチン接種

とき 4日(月)～8日(金)、12日(火)～15日(金)  
※7日(火)と14日(木)午後は休診です。  
ところ あつまクリニック  
受け付け 接種希望当日に、町民福祉課で受付を行ってください。(受付時間 9:00～11:30, 14:00～16:30)  
対象 生後3ヶ月～90ヶ月までの赤ちゃん

※不活化ポリオワクチンは、初回接種3回、追加接種1回、合計4回の接種が必要です。(追加接種が定期接種として導入されました)

#### 【標準的な接種時期と接種間隔】

◆初回接種(3回)：生後3ヶ月～12ヶ月に20～56日の間隔で3回。  
◆追加接種(1回)：初回接種終了後から12ヶ月～18ヶ月後に1回。

※標準的な接種時期を過ぎた場合でも、生後90ヶ月までの間であれば接種できます。

※生ポリオワクチンをすでに2回接種している方は接種不要です。

※上記以外の場合は、町保健師にご相談ください。

持ち物 母子健康手帳、印鑑

### MR混合(麻しん・風しん)予防接種

とき 18日(月)～22日(金) ※21日(火)午後は休診です。  
ところ あつまクリニック  
受け付け 接種希望当日に町民福祉課で受付を行ってください。(受付時間 9:00～11:30, 14:00～16:30)  
対象 ①生後12ヶ月～24ヶ月までの赤ちゃん  
②H18.4.2～H19.4.1生まれの赤ちゃん(小学校就学前の1年間にあたる赤ちゃん)  
※上記以外の場合は、町保健師にご相談ください。  
持ち物 ①②の方…母子健康手帳、印鑑

### 児童相談所巡回相談

とき・ところ 21日(木) 総合ケアセンターゆくり  
対象 お子さんの発達や子育てについて、お悩みや相談のある方などなたでも相談できます。  
時間 人数が確定次第決定します  
申し込み 2月14日(木)までに、町民福祉課福祉グループまでお申し込みください。  
スタッフ 室蘭児童相談所児童福祉司ほか  
その他 個人情報・秘密は厳守します。

### 離乳食講習会

とき 28日(木) 10:00～12:00ごろ  
ところ 総合ケアセンターゆくり  
対象 H24.8.15～H24.11.13生まれ(3～6ヶ月)の乳児健診受診後の赤ちゃん  
持ち物 母子健康手帳、筆記用具、エプロン、手拭きタオル、赤ちゃん用スプーン  
申し込み 2月21日(木)までに、町民福祉課健康推進グループまでお申し込みください。

【お知らせ】2月の日曜・祝日当番医は、情報ひろばに掲載しています。

### «病気の可能性がある 肩こりの特徴»

下記のような症状がある時には、医師の診察を受けましょう。

#### ・階段を上がるなど運動した時に肩が痛む。

狭心症や心筋梗塞など心臓の病気から起こる痛みが肩に放散することがあります。多くは左肩に現れます。

#### ・手足のしびれや麻痺を伴う肩こり。

肩の痛みに伴い手足のしびれや麻痺の症状がでている場合は、頸椎の病気の可能性があります。

#### ・首や肩を動かしていないのに痛む場合。

肺、脾臓、胆嚢などの臓器に病気がある可能性があります。

#### ・徐々に症状が強くなる場合。

いつも同じ場所がこる、しつこい痛みがある場合も肩以外の臓器の病気が原因で症状が出ている場合があります。

肩こりは筋肉疲労・血行不良により起こるものと、頸椎や内臓の病気などから起こる場合もあるので、原因の確認が必要です。左に紹介しますので参考にしてください。

肩こりは筋肉疲労・血行不良により起こるものと、頸椎や内臓の病気などから起こる場合もあるので、原因の確認が必要です。左に紹介しますので参考にしてください。

※上記に当てはまらないとしても、慢性化した肩こりに悩まされてつらい場合や日常生活に支障をきたしている場合には、医師に症状をご相談ください。

### 花火と干支文字の共演！スターフェスタ2013inあつま

町商工会青年部（大山一樹部長）では、スターフェスタ2013 inあつま「第14回冬の花火大会・『巳』の干支文字焼き」を開催します。皆さんのご来場を心からお待ちしています。

■日時 2月3日（日）午後6時30分から（予定）

■場所 こぶしの湯あつま

■内容 ・厄払い豆まき、もちまき

年男年女、厄年の方に豆・もちをまいていただき、鬼（疾病や災難）を退治してもらいます。一般の方には、豆・もちひろいをしていただきます。

・干支文字焼き

こぶしの湯から見える雪原に2013年の干支「巳」の文字焼きをします。直線距離270mで、花火と干支文字焼きの共演が楽しめます。

・打ち上げ花火

干支文字完成後に真っ白い雪原を舞台にした音と光の演出で、約2000発の花火を打ち上げます。

・樽酒、ココアの提供

大人の方には樽酒を、また、お子様などにはココアを無料提供します。

詳細につきましては、1月下旬の新聞折り込みチラシをご覧ください。  
天候などにより日時が変更になる場合があります。  
ご了承ください。

■問い合わせ先  
厚真町商工会（☎27-2456）

今年も両イベントが隣接した会場で開催!!

### 夢と希望の灯り2013光のページェント第13回ランタン祭り

ランタン祭り実行委員会では、町民の皆さんや団体などのご支援をいただき「夢と希望の灯り2013光のページェント第13回ランタン祭り」を開催します。

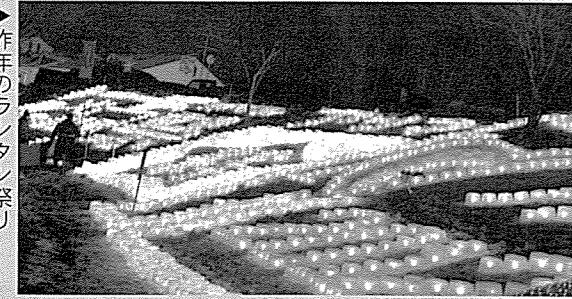
約5,000個のランタンが織りなす、心癒される灯りをお楽しみください。

また、「ランタン焼き」などの協賛事業も予定していますので、多くの皆さんのご来場をお待ちしています。

■日時 2月3日（日）午後4時45分開会式

■場所 こぶしの湯あつま周辺

■お願い 作製目標を5,000個といたします。皆さんのご協力をお願いします。



■問い合わせ先 第13回ランタン祭り実行委員会  
実行委員長 金本圭二さん（本郷・☎27-3611）



（※）e-Taxの利用にあたっては、電子証明書が付与された住民基本台帳カード（ICカード）およびICカードリーダー（リーダー）が必要です。

■期間  
1月28日（月）～3月15日（金）  
(期間中の土・日曜日、祝日を除く)

■申告相談時間  
午前9時～午後4時30分  
(※)午後6時30分～午後6時30分

■学童保育時間  
・月～金曜日  
午後12時30分～午後6時30分  
・土曜日、学校休業日  
午前8時30分～午後6時30分

■募集期間  
1月10日（木）～2月4日（月）  
平成25年2月28日

■希望する児童を募集  
25年度の「学童保育」を希望する児童を募集  
小学校1年生から4年生までのお子さんおよび健全育成上指導を要すると、町長が特に認められる小学校5・6年生のお子さんで、学童保育を希望される保護者の方は、申し込みをしてください。

なお、24年度に在籍しているお子さんも申し込みが必要です。お子さんも申し込みが必要です。

■問い合わせ先  
役場町民福祉課子育て支援グループ（☎26-17872）

詳しく述べは、子育て支援グループまでお問い合わせください。

■問い合わせ先  
児童扶養手当の支給要件が一部改正されました

改正する政令が施行され、DV防止法により保護命令を受けた児童に児童扶養手当が支給されます。

詳しく述べは、子育て支援グループまでお問い合わせください。

■問い合わせ先  
児童扶養手当の支給要件

お知らせ

印鑑を持参して、役場町民福

祉課子育て支援グループまたは

役場上厚真支所で申し込みくだ

さい。

■受付場所  
印鑑を持参して、役場町民福

祉課子育て支援グループまたは

役場上厚真支所で申し込みくだ

さい。

■学童保育負担金  
1人／1ヶ月（1,000円）

■受付場所  
印鑑を持参して、役場町民福

祉課子育て支援グループまたは

役場上厚真支所で申し込みくだ

さい。

■有効期限  
平成25・26年度の2年間

■受付期間  
（木）2月1日（金）～2月28日

（土、日曜日、祝日を除きます）

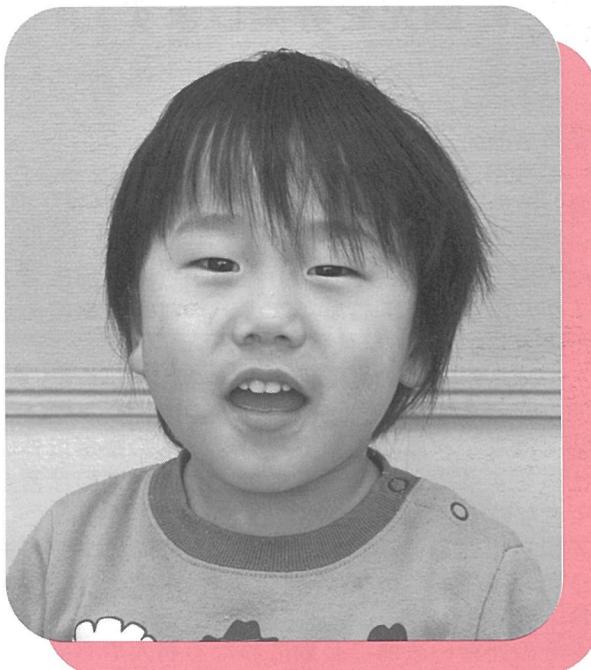
■受付窓口・問い合わせ先  
役場総務課財政グループ（☎27-12481）



龍崎 大翔くん  
H 21・4・1生  
父— 賢也さん  
母— ひさえさん  
(京町)

●—わが家のアイドルはこんな子です。●

「元気でいたずら好きな子ですね。最近はアンパンマンがあ気に入りで、歌に合わせて踊るのも好きです。ふりかけご飯とバナナが大好物で、ふりかけがあれば、ご飯を何杯も食べるんですよ。」



笠原 桜空ちゃん  
H 21・3・23生  
父— 幸司さん  
母— 由香さん  
(上厚真)

●—わが家のアイドルはこんな子です。●

「いつも歌って踊って走りまわって、元気いっぱいな子です。AKBが大好きで、いつもAKBの曲を歌ったり踊ったりしています。イチゴやトマトと、ホタテやホッキなどの貝類が大好物です。」

### ■今月の表紙

「12月19日、厚真中学校で3年生による合格祈願餅つきが行われました。今年で7年目を迎え、恒例となったこの行事。生徒たちは餅をつく前に『合格するぞ!』などの抱負を述べ、力強く杵を振り降ろしていました。」

### 【今月の内容】

- ◆町長・議長年頭のあいさつ
- ◆平成24年第4回定例議会
- ◆農の里2012
- ◆まちの話題
- ◆厚真町イメージアップキャラクター募集受付状況
- ◆気象台からの防災メモ
- ◆I LOVE厚真人
- ◆みんなの広場
- ◆まなびや
- ◆健康情報・ほけんの掲示板
- ◆情報ひろば

# 2013年1月

H25 NO. 725

12月20日現在の人口  
4,805人(前月比-1)  
男 2,355人／女 2,450人  
世帯数 2,077(前月比-6)